

NI-Youth が食事会 & スポーツ大会を行いました 異文化に触れて自分の世界が広がる

天野真子 (NI-Youth)

10月22日(土)、NI-Youth はJR 海浜幕張駅前のさくら水産にてランチ会の後、幕張海浜公園にてスポーツ大会を行いました。

今回のイベントは、国籍、文化、言語などバックグラウンドに関わらず楽しめる「スポーツ」を通して、留学生たちとより密に交流することを目的として設定しました。以前と比べて力を入れた口頭による宣伝が功を奏し、中国、台湾、韓国、ベトナム、アメリカと国籍の富んだ 15 人の留学生が参加してくれました。NI-Youth メンバーも含め全部で 33 人もの参加者が集まり、秋晴れの下皆で楽しく体を動かしました。

種目は順にフリスビードッジボール、借り者競争、しっぽとり、そして大縄とびと盛りだくさん。赤青 2 チーム対抗戦で、それぞれが仲間たちと協力して優勝を目指しました。

一つ目のフリスビードッジボールは、声援の中、男性も女性に手加減無しの白熱した試合でした(笑)。初めのうちは緊張気味だった留学生たちですが、一緒に動いているうちに距離が縮まって素敵な笑顔を輝かせるようになり、最後には心から打ち解けることができました。このように文化や言葉の垣根を越えて繋がれるのはスポーツならではの魅力です。



広い公園で思い切り大縄跳び。後ろは高層ビル群

次の借り者競争ではちょっとしたハプニングもありました。これは各チームの走者がお題の書かれた紙を一つ取り、それに合うメンバーを見つけて一緒にゴールするというもの。中には漢字のふりがながないものもあり、日本語を勉強中の留学生には少し難しかった様子。でもそんな時は NI-Youth メンバーがすかさずアシスト。言葉の意味を説明したり英語に訳したりとチームの連携が鍵となりました。

最後の種目は大縄とび。ルールは多く飛んだ組が勝ちといたってシンプル。先行・赤組は持ち前のチームワークを発揮して 29 回を達成。張り詰める緊張の中、続く青組も逆転を狙って負けじと挑戦しますが、この大記録に及ばず惜しくも準優勝となりました。終了後優勝・赤チームの心遣いのおかげで Winners' Treat のお菓子を分け合って食べ、全員で写真撮影とおしゃべりを楽しみました。最後まで笑顔と笑い声の絶えない素敵なイベントとなりました。

私にとって今回が初めてのイベント参加でしたが、改めて異文化交流の面白さを実感しました。異なる文化背景を持つ人々と共に楽しい時間を共有することができ、自分の世界が広がる良い機会になりました。



NI-Youth の旗に寄せ書きの後、最後に記念撮影